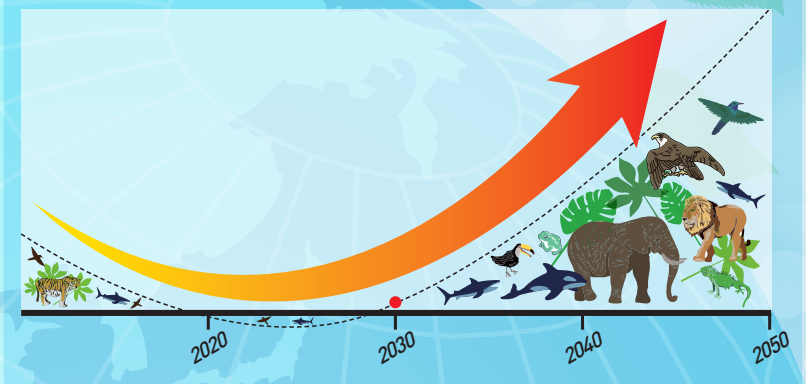
2023年度　筑波大学自然保護寄附講座　「野生生物と社会」学会第28回大会公開シンポジウム

ネイチャー・ポジティブを地域にどう落とし込むか？

～生物多様性地域戦略と多様なパートナーの参加～

生物多様性条約COP15では、2030年には生物多様性の減少を反転させ、2050年には元のレベルまで戻すというネイチャーポジティブを含む生物多様性枠組が採択されました。日本政府は、このネイチャーポジティブを掲げた生物多様性国家戦略を閣議決定しましたが、この目標を実現するためには自治体レベルでネイチャーポジティブを実現することが重要です。生物多様性地域戦略の策定に取り組むつくば市において、ネイチャーポジティブをいかにして、地域の課題とすることができるかを考えます。



2023年 12月2日(土)

受付 13：00～

学生によるポスター発表　13：30～14：30

シンポジウム　14：30～17：00

場所：筑波大学中地区第二エリア2H棟101

参加費無料

<パネリストと講演テーマ>

道家哲平

国際自然保護連合日本委員会事務局長
公益財団法人日本自然保護協会保護教育部

「生物多様性条約とネイチャーポジティブ」

石濱史子

国立環境研究所生物多様性領域主幹研究員
つくば市生物多様性地域戦略策定懇話会委員

「身近な自然共生サイトから世界目標30by30に貢献しよう」

上條隆志

筑波大学生命環境系教授
つくば市生物多様性地域戦略策定懇話会座長

「つくば市の生物多様性と大学の役割」

千田智之

つくば市生活環境部環境保全課環境管理係長

「つくば市の生物多様性地域戦略の策定状況」

裏面もご確認ください▶

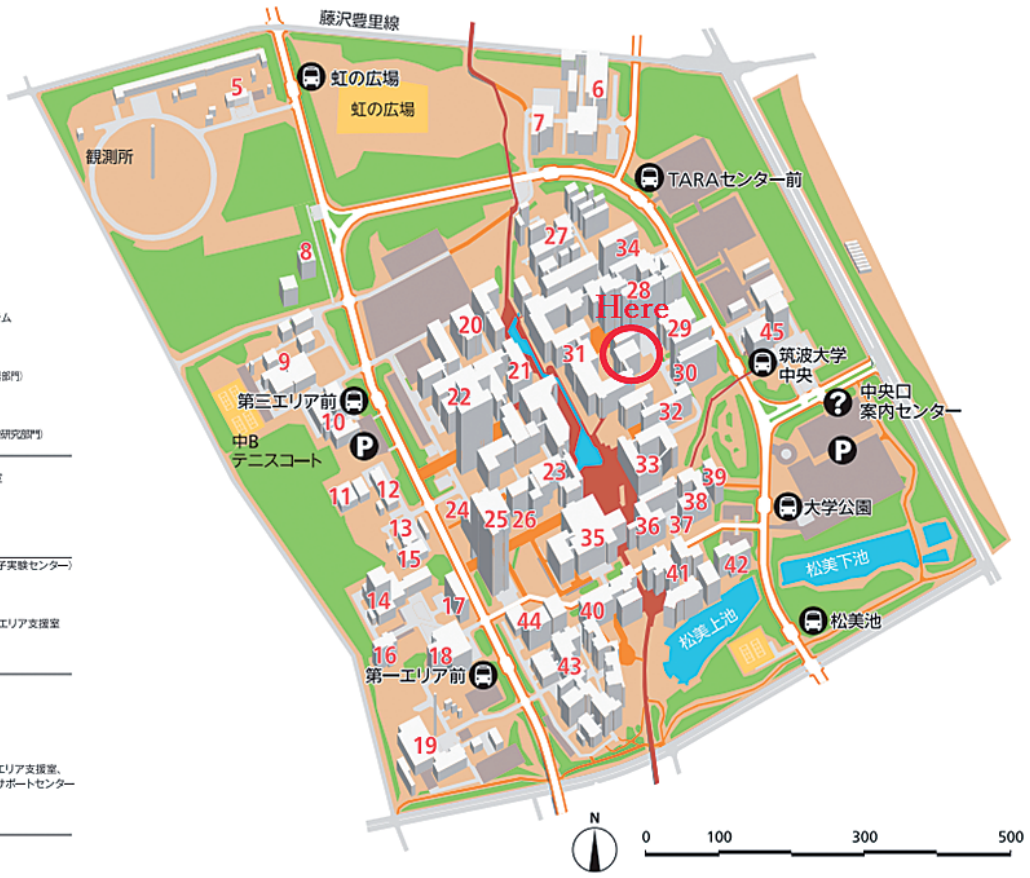
下記ウェブサイトよりお申し込みをお願いいたします

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScVuDCEgfSE50Z6g9nnixvEsVEaq0p7-ZFcNOMS-tR76JggYQ/viewform

お申込み期限 ▶ 11月27日(月)まで

開催場所のご案内

つくばエクスプレス「つくば駅」下車、地上の6番バス乗り場から「筑波大学中央」行きまたは「筑波大学循環」に乗車し、「筑波大学中央」バス停下車（自家用車の方は、大学本部棟の南の駐車場に駐車してください）。総合研究棟 A の前を通りすぎると駐輪場があります。その先の建物に「2H 棟」という表示が見えます。

筑波キャンパス 中地区

エリア名		施設名称
東エリア	1	厩舎・第2厩舎
農林技術（農場）エリア	2	つくば機能植物イノベーション研究センター（農場）
一の矢宿舎エリア	3	一の矢学生宿舎
	4	一の矢生活センター
実験センターエリア	5	放射線・アイソトープ地球システム研究センター（環境動態予測部門）
	6	TARAセンター
	7	産学リエゾン共同研究センター
	8	バイオ・マテリアル植物生産研究棟
	9	プラズマ研究センター
	10	リサーチユニット 藻類バイオマス・エネルギーシステム
	11	エンパワースタジオ
	12	研究基盤総合センター（工作部門）
	13	研究基盤総合センター（低温部門）
	14	放射線・アイソトープ地球システム研究センター（応用加速器部門）
	15	共同研究棟C
	16	研究基盤総合センター（分析部門）
	17	プロジェクト研究棟
	18	放射線・アイソトープ地球システム研究センター（放射線研究部門）
	19	筑波大学アーカイブズ、中央機械室
第三エリア	20	第3体育館
	21	3A～3D・G、3K、3L棟／システム情報エリア支援室
	22	工学系学系棟
	23	理科系棟
	24	共同研究棟D
	25	総合研究棟B
	26	サイバニクス研究棟
第二エリア	27	つくば機能植物イノベーション研究センター（遺伝子実験センター）
	28	生物・農林学系棟
	29	第1体育館
	30	総合研究棟A
	31	2A～2E、2G、2H棟／生命環境エリア支援室、人間エリア支援室
	32	文科系修士棟
	33	人間系学系棟
	34	環境防災研究棟／山岳科学センター
第一エリア	35	中央図書館
	36	人文社会学系棟
	37	共同利用棟A
	38	共同研究棟A
	39	共同利用棟D
	40	1D～1G棟／スチューデントプラザ
	41	1A～1C、1H棟／人文社会エリア支援室、数理物質エリア支援室、スチューデントコモンズ、総合学域群アカデミックサポートセンター
	42	文科系サークル会館
	43	自然系学系棟
	44	計算科学研究センター
本部棟エリア	45	本部棟、本部アネックス棟